

令和4年5月20日

株式会社 中国銀行

## 「脱炭素先行地域」の選定について

当行は、環境省が募集する「脱炭素先行地域」において、岡山県西粟倉村（村長 青木秀樹）、株式会社エックス都市研究所（東京都豊島区高田二丁目17番22号 目白中野ビル6階 代表取締役 大野 眞里）、テクノ矢崎株式会社（東京都品川区南品川二丁目2番10号 南品川Nビル3階 代表取締役 佐野 裕昭）と共同提案をおこない、このたび岡山県西粟倉村が脱炭素先行地域に選定されましたのでお知らせいたします。

当行は、引続き、本取組みをはじめとして幅広い領域で地方創生やSDGsに貢献してまいります。

### 【事業概要】

#### 1. 事業名

2050 “生きるを楽しむ” むらまると脱炭素先行地域づくり事業

#### 2. 脱炭素先行地域の対象

西粟倉村の公共施設等（庁舎、教育・福祉施設、産業・商業施設、村営住宅等）

#### 3. 主なエネルギー需要家

小中学校等の公共施設9施設、村営住宅等54戸、産業・商業施設5施設

#### 4. 提案者

岡山県西粟倉村、㈱エックス都市研究所、テクノ矢崎㈱、当行（共同提案）

#### 5. 計画期間

2022年度（令和4年度）～2030年度（令和12年度）

#### 6. 主な取組み

- ・各施設等への再生可能エネルギー設備の設置による自家消費の推進
- ・設立予定の地域新電力会社を通じたエネルギーマネジメントの実施・地域全体への供給

#### 7. 中国銀行の役割

- ・各種施策およびプロジェクト全体の進捗管理
- ・各プロジェクトの事業性検証

### 【脱炭素先行地域とは】

2050年カーボンニュートラルに向けて民生部門（家庭部門及び業務その他部門）の電力消費にともなうCO<sub>2</sub>排出の実質ゼロを実現する地域で、地域脱炭素の取組を全国へと

広げていく先行モデルとなります。地方自治体や地元企業・金融機関が連携し、環境省を中心とした国の積極的な支援のもと、地域特性に応じて脱炭素に向かう先行的な取組みの実行や地域課題の解決を目指します。

脱炭素先行地域は全国で100か所程度が選定される予定で、第1回目となる今回は共同提案を含め日本全国の102の地方公共団体から79件の応募があり、うち26件が選定されました。

本事業は、西粟倉村における多様な施設等を対象とし、地域資源を生かした多様な再生エネ電気の供給を予定した網羅的な提案であること、地域金融機関が共同提案者となっていることや民間企業との連携体制等が高く評価され、今回の脱炭素先行地域の選定につながりました。

**【関連URL】**

環境省ホームページ

「脱炭素先行地域選考結果（第1回）について（令和4年4月26日）」

<https://www.env.go.jp/press/110988.html>

以 上

# 2050“生きるを楽しむ”むらまると脱炭素先行地域づくり事業 全体構想

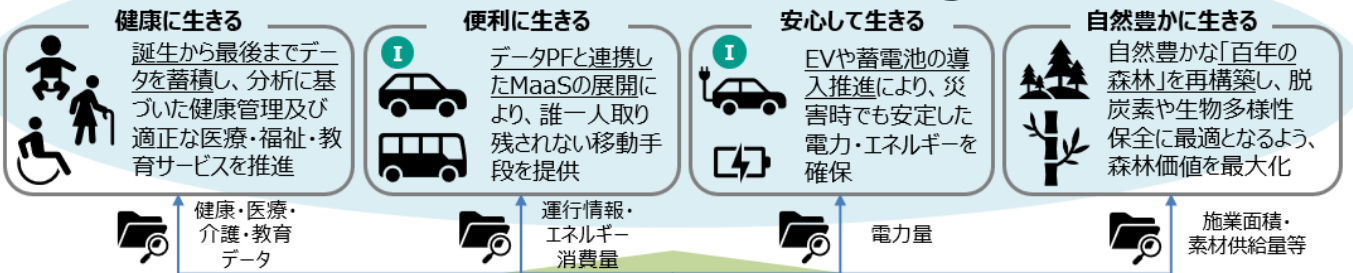
## 2030年までに目指す地域脱炭素の姿

- 村では「生きるを楽しむ」(well-being)を支えるためのスマートフォレストシティプラットフォーム構築を目指しており、カーボンニュートラルに向けた取組をプラットフォームに接続させることにより、更に上質な田舎の実現を目指す。
- また、VPPやPPA事業を担う地域新電力事業会社を設立することで地域経済基盤の創出や、森林整備で発生する廃棄物であるバークを木質バイオマス事業に活用することによる循環社会の実現も目指す。
- 2050年には、森林吸収も含めると地域内のカーボンニュートラルは容易に達成が可能であるため、村内で生産された余剰再生可能エネルギーを他地域へ供給・売電することにより、他地域のカーボンニュートラルへも貢献している状態を目指す。

## brighten our forests, brighten our life, brighten our future!!

### 生きるを楽しむ西粟倉村 ~Well-being~

SDGs未来都市計画



### カーボンニュートラルに向けた取組推進により、更に上質な田舎へ

